

<p>事業名</p>	<p>鹿屋体育大学による鹿屋市民のウェルビーイングを実現する地域密着型ヘルス&スポーツプロモーションモデル事業</p>
<p>事業概要</p>	<p>①本学の施設を活用した多世代交流ミッションウォーキング事業【地域課題①③⑤】 幼児学童期・子育て世代・高齢者世代（多世代）を対象とするスポーツイベント開催</p> <p>②みるスポーツ支援人材育成事業【地域課題②⑤⑥】 大学スポーツイベントに関するセミナー開催／スポーツボランティアリーダー養成／スポーツ観戦イベント開催</p> <p>③職域へのウェルビーイング出張事業【地域課題③④】 働き世代に向けた自宅で継続的に取り組める運動プログラムを企業への拡充</p> <p>④目指せ鹿屋健康寿命日本一プロジェクト事業【地域課題④⑤】 令和4年度に試行したICT（タブレット活用）による介護予防事業の他地域への展開</p>

■対象地域の課題

- ①鹿屋市の小中学生の体力は全国平均より低い(※1)
- ②プロ・大学スポーツを会場で観戦する市民が少ない(※2)
- ③鹿屋市民のスポーツ実施率は全国平均より低く、30歳、40歳代の働き世代・子育て世代が特に低い(※2)
- ④鹿屋市民のメタボリックシンドローム該当者・予備群は全国平均より高く、20歳～64歳の1日の平均歩数は全国平均より低い(※3)
- ⑤鹿屋市の要介護認定率は全国より高い水準(※4)
- ⑥鹿屋市民のスポーツボランティア経験率は全国平均より低く、50歳代以上の世代が特に低い(※2)

※1:第2次鹿屋市総合計画 ※2:第2期鹿屋市スポーツ推進計画
 ※3:第2次鹿屋市健康づくり計画 ※4:鹿屋市第8期介護保険事業計画

■活用する大学スポーツ資源

本事業は、本学の以下のスポーツ資源を活用して実施する。

- ・本学教職員
 イベントの企画・立案、イベント実施、学内外の関係者との連絡調整
- ・課外活動団体に所属する学生
 イベントの企画・補助、課題活動団体との連絡調整
- ・鹿屋体育大学白水キャンパス
 (屋内外の体育施設、SPORTECスポーツパフォーマンス研究センター)
 イベント・セミナー開催の会場、測定・ウォーキングコース会場

■期待される事業効果

- 【短期的効果】
- ・**スポーツ交流人口の増加**
 大学スポーツを通じてスポーツ交流人口を増やし、地域コミュニティの活性化
- 【長期的効果】
- ・**子どものスポーツへの関心及び体力向上**
 親子が一緒に楽しく参加できるスポーツイベントを通じて、子どものスポーツへの関心及び参加者の体力向上
 - ・**働き世代のスポーツ実施率の向上**
 自宅で取り組める運動プログラムやスポーツイベントへの参加を通じて、働き世代が継続可能な運動やスポーツ実施の定着化
 - ・**鹿屋市民の健康寿命の延伸に寄与**
 ICTを活用した測定データの可視化により、健康の維持・増進に寄与

■事業の実施体制図

